

見学調査報告書

テーマ : スポーツを「み」る
ゼミ名 : 市場 俊之ゼミ
調査日 : 2022年10月15日(土)
調査先 : 日本オリンピックミュージアム
授業科目名 : ベーシック演習Ⅰ・Ⅱ
参加学生数 : 5名(1年)

調査の趣旨(目的)

当ゼミの『スポーツを「みる』』、スポーツ庁の謳う「する・みる・ささえる+しる」を併せ考える。スポーツの現状を研究・考察対象にするだけでなく、歴史性を基盤とする文化としてのスポーツの「ひとつ」としての日本オリンピックミュージアムを見学調査する。

調査結果

学生の感想文から :

- ・オリンピックの歴史に身近に触れることができた。具体的には、古代ギリシャのオリンピック大会、近代オリンピックの誕生と展開についてである。
- ・ミュージアム内に1936年以降の聖火トーチが展示してある。ベルリン大会時のものはレプリカだが、その他すべてがオリジナルであるというのは驚きである。初期のものはかなりシンプルだが、トリノ大会のトーチはかなり特徴のあるデザインで印象深かった。
- ・東京五輪2020+1で使われたプラカードや選手サイン入りの道具など貴重なものをたくさん見ることができた。歴史を振り返っても東京2020+1大会がかなり異例だったことがわかる。
- ・近代オリンピックにおける女性参加は、競技・種目ごとに差があるものの、全体として遅くないしは新しい。現状から見ると、その「遅さ・新しさ」が衝撃的だった。
- ・選手が跳ぶ高さや走る速さなどを目視できるバーチャル・コーナーでは、アスリートの凄さを実際に感じる事ができた。
- ・「スポーツを『みる』」ゼミと関連してる事も多かったので、理解が深まった。

